

2019 大阪保育福祉専門学校 カリキュラムについて

1. 授業計画（シラバス参照のこと）

2. 評価

- 半期科目は前期・後期ごとに、通年科目は後期終了後に評価を行う。
- 科目の評価は、各科目担当者が行う。
複数担当者の場合、評価基準・平均点の目安(75点)を事前に確認する。
評価が提出された後、科目によって極端なばらつきが生じていないか、学科長が確認する。
- 評価方法は科目によって異なり、各科目の評価基準は客観的に分かりやすい方法で行い、シラバスに明記する（定期試験(筆記もしくはレポート)、平常授業態度(小テスト等を含む)、提出物等）。
- 評価は素点にて行い100点満点で60点以上の者が単位取得できる。
科目の性格上、一部可否の判断のみの科目もある。
- 単位取得無資格となる者
学費未納者
定期試験における不正行為が認められた者
最終授業直前までの授業を3分の1欠席し、担当者が評価不能と判断した者
授業態度等(提出物等)により、担当者が評価不能と判断した者
追再試験終了時点で60点(100点満点)に満たなかった者
- 成績表は前期・後期ごとに、クラス担任より個人へ配布される。
個人の成績の平均点を算出し、当該学年における学生の習熟度について自身で把握できるようにする。

3. 進級・卒業判定

(1) 判定基準

①進級

その学年において必修としての要件のある科目の不足が4科目以内の者（5科目以上不足すると学年再履修となる）。

②卒業

本校は保育士養成指定校である専修学校であるため、各学科各コースとも保育士資格取得に必要な単位を含む、卒業に必要な最低取得単位数を取得した者。

(2) 判定の流れ

①第一次卒業判定会議

後期試験を含む最終授業週が終了し、成績処理が終了した時点で、専任教員による第一次卒業判定会議を開く。この時点で卒業に必要な最低取得単位数を取得した者は卒業(保育士資格取得を含む)が確定する。

②後期成績発表

③第二次卒業判定・進級判定会議

後期追再試験実施後、最終の成績処理が終了した時点で第二次卒業判定会議、在校生の進級判定会議を開く。この時点でその年度の卒業生(および卒業学年再履修)が確定し、在校生の進級(および学年再履修)が確定する。

④後期追再試験成績発表

学年再履修が決定した者については、クラス担任を中心に複数教員、保護者と共に個別懇談を実施し、相談・指導を行う。